

令和 6 年 9 月
水 産 庁

アイエーティーティーシー

I A T T C (全米熱帯まぐろ類委員会) 年次会合の結果について

1 日時・場所

9月2日(月)～6日(金) (現地時間)

於：パナマシティ (パナマ)

2 出席国・地域・国際機関

日本、米国、カナダ、EU、中国、韓国、台湾、フランス(海外領土)、メキシコ、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、コスタリカ、コロンビア、ニカラグア、パナマ、ベネズエラ、ベリーズ、ペルー、バヌアツ、インドネシア※、ボリビア※、ホンジュラス※、チリ※、リベリア※、の25か国・地域(※は協力的非加盟国)

(他、関係する国際機関、NGOの代表等が参加)

3 我が国出席者

福田水産庁資源管理部審議官(我が国代表)ほか、水産庁、外務省、国立研究開発法人 水産研究・教育機構及び業界関係者。

4 結果概要

(1) 太平洋クロマグロ

本年7月に開催されたWCPFC(中西部太平洋まぐろ類委員会)北小委員会・IATTC 合同作業部会で合意した事項に基づき、以下の措置を採択。

① 太平洋クロマグロ保存管理措置

以下の増枠を含む措置を採択（7月合意から変更なし）。

（2年分のブロッククォータ）

米国 : 1,017 トン ⇒ 1,822 トン (50%+300 トン増枠)

メキシコ : 6,973 トン ⇒ 10,763 トン (50%+300 トン増枠)

(計 : 7,990 トン ⇒ 12,585 トン (4,595 トン増枠))

② 太平洋クロマグロ監視取締措置

各国が実施している監視取締措置に関する報告義務を設け、2026年までに統一的な監視取締措置を作成する手続きを定めた措置を採択（7月合意から一部修正）。

(2) 熱帯まぐろ（メバチ・キハダ）

措置の見直しの議論が行われたものの合意に至らず、現行措置の2年延長を基本とした措置を採択。

【参考 メバチ・キハダ資源管理措置の概要】

(1) まき網漁業

	2025-2026 年
全面禁漁期間	全船が、年間 72 日間を禁漁期間とする。 (7 月 29 日～10 月 8 日又は 11 月 9 日～翌年 1 月 19 日)
	漁船毎に前年のメバチ漁獲量に応じて禁漁期間を延長 1200 トン以上 : 72 → 82 日間 1500 トン以上 : 72 → 85 日間 1800 トン以上 : 72 → 88 日間 等
集魚装置 (FAD) の使用数 (一隻当たり)	340 個以下

(2) はえ縄漁業

メバチの年間漁獲上限の設定 (計 55,131 トン)

日本	韓国	台湾	中国	米国
32,372 トン	11,947 トン	7,555 トン	2,507 トン	750 トン